

杜協たより

第145号

2009.12.1

SPコード版・
点字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市山部側筒谷616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552 e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp



あたたかい みんなの気持ち とどけよう・・・赤い羽根共同募金



もくじ

- | | | | |
|--------------------------|---|-----------------|---|
| ●直方杜協新役員紹介、福祉センターからのお知らせ | 2 | ●福祉まつり、ご寄付 | 5 |
| ●ボラ連要望活動、アルツハイマーデー | 3 | ●おもちゃ図書館のおがた、 | |
| ●地域の輪、図書室 | 4 | もちつき会のご案内、読者の投稿 | 6 |

この赤い羽根募金は、私たち一人ひとりが福祉活動に参加できるもので、お金だけではなく心も集めるというのが基本ではないでしょうか。

因みに、国語辞典によると「共同」とは2人以上の人や2つ以上の団体が一緒になって、一つの目標に向かっていろいろな活動をする事です。(Y・K)

近頃は、この運動もマンネリ化して運動の趣旨や意義がいまいになっているのでは...と感じるのは私だけでしょうか？

この赤い羽根共同募金は、昭和22年(62年前)敗戦後の混乱期に、民間福祉に対する資金援助のために始まったものです。

あくまでも募金なので、お互いが助け合ってより良い地域社会を創ろうという「貧者の一灯」の精神から始まった活動だといわれています。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まり、巷では募金箱を持った各種団体の人たちがボランティアで、募金運動を始めました。

赤い羽根共同募金と福祉

kantera

カンテラ



直方市社会福祉協議会発展のため、

決意新たに。

新役員の紹介

【任期】平成21年7月23日から平成23年7月22日まで

役職名	氏名	選任区分
会長	伊藤 福義	⑥
副会長	藤村 功	①
副会長	政本 國重	④
副会長	古賀 章子	③
理事	篠澤 善道	①
理事	上村 清	①
理事	石山 洋一	①
理事	篠原 照行	②
理事	西嶋 圭子	②
理事	大坪喜代美	②
理事	田中 壽子	③
理事	堀 勝彦	④
理事	合谷 源吾	④
理事	内田百合子	④
理事	塩川 和之	⑤
理事	貝島 悠翼	⑥



選任区分

- ①自治区会、公民館
- ②民生委員児童委員の代表
- ③ボランティアグループの代表
- ④社会福祉関係団体の代表、校区社協
- ⑤福祉、教育、医療関係の代表
- ⑥社会福祉について知識を有する人

どうぞお気軽に

ご利用ください！

直方市総合福祉センター

直方市総合福祉センター（以下、センター）では、地域や年齢を問わず、囲碁や将棋、カラオケ、舞踊を楽しみながら毎日の生活を楽しく過ごしています。また、地域福祉活動の拠点として、ボランティア団体などにも有効に活用していただいております。



白熱する囲碁

ています。福祉まつりにも毎年参加して体操を披露し、屋外教室ではバスハイイクを実施しながら楽しく生き生きと活動しています。どなたでもお気軽におこしくください。



にこにこ屋外教室in星野村

毎週水・木・金曜日には、センター集会室にて「にこにこ教室」を開催し、健康体操やゲーム、歌などを楽しみながら介護予防活動を実施し

また、第4水曜日の13時から16時まで「認知症の人と家族の会」の協力により「認知症相談」を開催しています。その他に、第2・4火曜日、

直方市総合福祉センター入館料

中学生以下	無 料
上 記 以 外	200円
回数券(11枚)	2,000円

※団体は(20名以上)は1割引となります。



毎週土曜日の10時から15時(12時から13時までは閉館)は「おもちゃ図書館のおがた」をセンター1階おもちゃの部屋にて開館しています。センターの開館時間は、9時から16時30分です。(受付は16時まで) 休館日は月曜日、第3日曜日、祝日と、年末年始(12月29日から1月3日)です。入館料は左記の通りで、認知症相談やおもちゃ図書館のおがたは、無料でご利用いただけます。

誰もが使える公共交通の拠点に

直方市ボランティア連絡協議会要望書を提出



直方駅で階段を上るOさん

よう要望書を作成しました。
内容は、階段のステップと滑り止めの色合いを変えコントラストをはっきりつけることや、トイレには背もたれをつけるなど、24項目にわたっています。

要望書を提出することで、「何もしない」ではなく「まずできることから」の一步になり、障害を持った人たちを外出させてあげるのではなく、外出したい時にいつでもできる条件が新しい駅に整って欲しいものです。

障害当事者協力のもと、直方市ボランティア連絡協議会（田中壽子会長。以下、ボラ連）15団体は、「JR直方駅改築に伴う要望書」を10月26日と30日に直方駅、九州旅客鉄道株式会社、直方市長に提出しました。

ボラ連は、1979年に発足し「障害のある人も普通の

列車の旅を」を目的とした「ふれあいの旅」を実施しながら、誰もが使える公共交通に対する要望活動を長年行ってきた。

今回の要望にあたっては、障害当事者と共に、7月11日、新飯塚駅・小竹駅・直方駅の調査活動を行い、障害当事者の目線に立った駅が完成する



認知症に理解を

「認知症の人と家族の会直方」が

啓発活動



リーフレットを手渡す家族の会の会員

め正しい理解を広めるための活動が行われています。そこで、家族の会でも、認知症の正しい理解を促進するため、啓発活動を行いました。家族の会では、認知症に関する相談も受け付けています。



9月12日、「世界アルツハイマーデー」を前に、認知症の人と家族の会直方（重吉典枝代表。以下、家族の会）が、直方イオン買い物客らに啓発のリーフレットを配布しました。

世界アルツハイマーデーとは、1994年9月21日、国際アルツハイマー病協会が、第10回国際会議でこの日を世界アルツハイマーデーとして宣言したものです。以来各地で、この日を中心に認知症についての関心を高

【認知症相談日時】

毎月第4水曜日

13時〜16時

【場所】

直方市総合福祉センター

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会

（電話）

0949(23)2551

市内にはさまざまな地域に根ざした独自の福祉活動があります。そんな皆さんの活動をご紹介しますコーナーが地域の輪です。

* 一緒に山に *

「やまぼうしの会」



福智山登山の様子



尺岳登山の様子

視覚障害者の方も山登りと野外活動を楽しんでいる「やまぼうしの会」です。

障害者の方の「山に登りたい」という希望があり、数人の山好きが集まって始めた山登りの会です。ガイドサポート等には全くの素人集団でした。筑豊周辺の山々を中心に、時には県外遠征など月に1回、家族的な雰囲気や障害のあるなしを超えて楽しんでいます。多くのことを学び教えられ一歩一歩の積み重ねで今年10年の節目を迎えることが出来ました。

ちなみにこの10年間で山の頂上に立った障害者の方、延200人余、登った山は、40山で52山頂です。

参加希望の方は、直方市社会福祉協議会へお問い合わせください。
(T・S)

* 自然の中で共に生きるやまぼうしの会 *

直方畑の会「ふたば」



ピーマンなど夏野菜の植え付けをする参加者

を持つお子様をお持ちの方は一度参加されてみてはいかがでしょうか？

なお、平成21年12月23日には、高橋正泰先生（発達障害支援研究所 たまや所長）による「思春期の障害特性と支援」を、平成22年2月14日には瀬尾久美子先生（障害福祉サービス事業所 つむぎの里管理者）による「やさしい社会・直方市を指して」の講演を予定しております。

詳しくは直方市社会福祉協議会までお問い合わせください。

将来的には、自然が残るこの直方の地で、障害者、高齢者など様々な環境の人たち全てにとつてやさしいまちにしたいという思いから、畑という自然をとおして障害者の自立支援、高齢者の生きがいの場、また人権学習の場となるように広がっていききたいと思っています。

図書室 ゆずり葉

原作 早瀬憲太郎

監修 全日本ろうあ連盟

発行者 政門 一芳

発行所 (株)汐文社



ゆずり葉の木を見たことがありますか？ユズリハ科の常緑高木で、葉は丸みがあり、つやがあり、正月の飾り物として用いられています。暖地の林の中に生育して若葉が育つと、交代に古葉が落ちることから、この名前がつけられました。全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画、「ゆずり葉」は、この本が原作です。ろう者が医者や薬剤師にはなれないとした欠格「差別」条項に苦渋を味わい、泣かされてきたろう女性の実話です。ろう者ゆえの苦難をはねのける愛の力、又、次の世代に手渡すために、現状を変えようと、多くのろう者がたくさん汗や涙を流してきました。単にろう運動を紹介するのはなく、30年も前の世代と今現在の世代の人間ドラマ、人生の喜怒哀楽を織り込んだ、娯楽作品としても読んでいただける小説です。一人でも多くの人に読んでいただいて、ろう者の言葉である「手話」に関心を持っていただけたら幸いです。
(T・Z)

地域の福祉、

みんなに参加

平成21年度福祉まつり開催

直方市社会福祉協議会で「平成21年度福祉まつり」は、10月25日の10時から、直方市体育館で開催しました。

共同募金運動の期間中でもあることから「地域の福祉、みんなで参加」をキャッチフレーズとし、民生委員児



視覚障害者日常生活体験の様子

飲食店コー

館内では新生第2保育園児による踊りや直方高校による吹奏楽演奏などが行われ、まつりを盛り上げました。

児童委員協議会、身体障害者福祉協会、ボランティア連絡協議会、西校区自治会、消防団第6分団2部など、36団体の参加・協力でにぎやかに行われました。

体験コーナーでは、手話・点字・車いす・昔遊び・高

ナードでは、ぜんざい、カレー、焼きそば、クッキー、コーヒなどが並び、秋晴れの好天のもと、来場された600人の方々に、ともに生きることの大切さを感じていただけたのではないのでしょうか。

九州アートトラック愛好会

エンド☆ラスト

チャリティー

撮影会にて寄付

エンド☆ラスト(熊谷博幸会長)は、アートトラックを通して社会福祉へ協力することを目的としたクラブです。

9月20日、直方の遠賀川河川敷公園にて、第7回チャリティー撮影会を開催し、イベントの収益金を直方市社会福祉協議会に寄付していただきました。

エンド☆ラスト皆様のご好意に感謝し、いただいた寄付金は、社会福祉推進のため、大切に使用させていただきます。



撮影会にて募金箱を手渡す宮近事務局長(左)

ご寄付ありがとうございます。
ごこいいます。

平成21年6月16日(平成21年11月15日)
41件 合計金額1,956,333円

(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

香典返し寄付金

- 須崎町 福本 勝子
- 新町 栗原 淳
- 上頓野 (故)綿貫 フヂ子
- 頓野 (故)林 タツ子
- 感田 高田 修一
- 頓野 (故)後藤 正己
- 日吉町 中嶋 普
- 千葉県 中村 浩昭
- 久留米 原田 和子
- 下新入 高山 千恵子
- 中泉 奥村 ナホ子
- 新町 中富 正実
- 畑 森山 幹雄
- 武内 ヨリ子
- 頓野 (故)樋口 宏和
- 宮若市 山根 傅和
- 下新入 富安 雪枝
- 山部 森本 恵美子
- 植木 山本 清子
- 頓野 島本 京子
- 永満寺 平山 一也
- 下境 河江 悦子
- 上頓野 中川 美智子

一般寄付金

- 下新入 (故)西谷 ヨシノ
- 感田 (故)出水 フミエ
- 井上 まり子
- 佐藤 恒雄
- 後藤 ノブ子
- 山部 織田 敏美
- 上境 山本 美由記
- 福岡市 森 信一郎
- 上新入 倉成 美知代
- 赤地 増川 政義
- 感田 阿部 利忠
- 新町 松山 千秋
- 九州アートトラック愛好会 エンドラスト
- 会長 熊谷 博幸
- 感田 筑前塾
- 直方市民生委員

児童委員協議会



「おたのしみ会」を終えて

おもちゃ図書館のおがた



音楽セラピーでの様子

まず、緒方氏による音楽セラピーでは、リズム遊びを通して参加者同士の交流を楽しんだり、いろんな楽器に触れながら演奏したりと、和やかなひと時を過ごしました。

次に、スタッフ会の草原さんによる本場門司仕込みのバナナの叩き売りは、子どもたちとの息もぴったりで、あつという間に完売の運びとなりました。

同じくスタッフ会の村上さんによる手遊び、誕生日月のお友達という歌遊びでは、一人ひとりが主役となり楽しめました。また、ポリ板でのキーホルダー作りでは、子ども同士が助け合って素敵な作品が仕上がりました。

ある障害を持つ子どものお父さんが「キーホルダーは、この娘の初めての作品です」の言葉と嬉しそうな表情が印象的でした。

ご参加下さった皆様、本当にありがとうございました。

狭く感じる程でした。

(I・M)



誰でも参加できる「もちつき」を通じて、出会いとふれあいを深めます。
蒸す人、つく人、こねる人、ひたすら食べる人など、多くの方の参加をお待ちしています。

【日時】

平成21年12月20日(日)

9時～12時

【場所】

直方市総合福祉センター 駐車場

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会

(電話)

0949(23)2551



短歌 読者の投稿

〇さんへ

Kより

1級の身体障害をもつあなた自立生活10年となる

麻痺の身はヘルパーさんに頼りつつ心豊かにあなたは暮らす

ボランティアになりてあなたの車椅子を押す時ひとの眼を感ず

車椅子に通るいつもの商店街あなたに馴染みの笑顔増えたり

聞き取れぬあなたの言葉に済まなくも幾度度も聞き返しけり

時の間を共に過しし10余年心の壁に吾触れにしや

自立せるあなたを支える向上心ヘッドギヤにてパソコンを打つ

障害者自立支援の学習に旅立つあなたのその心意気

再びの出逢い何時の日福岡へ移るあなたをしかと見送る

桜の下チューリップの前思いの二人の写真に映える青空



あなたの声を お待ちしています

社協だよりの感想、個人や地域での悩み事・困り事、地域の福祉に関する取り組み、ユニークな活動などの情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

お問い合わせ

直方市社会福祉協議会

(電話)

0949(23)2551

(ファックス)

0949(23)2552

(メール) nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

編集後記

10年間、ボランティアセンターの個人登録ボランティアとして、当事者に寄り添ってきた二人の思い出の写真を見た時、そこには障害者・健常者の垣根はなく、同じ人間として関わってきた姿に、グッとくるものがありました。

地域で支えあう福祉のまちづくり、社協活動の原点を垣間見た思いでした。

(M)